

早稲田大学大学院文学研究科フランス語フランス文学コース

2017 年度修士論文最終試験実施のお知らせ

各位

早稲田大学大学院文学研究科フランス語フランス文学コースの2017年度修士論文最終試験（口頭試問）を、下記の通り実施します。審査は公開で行われ、1名につき30分の審査時間を予定しております。

記

日時 2018年1月23日（火）10:00 開始

場所 戸山キャンパス 33号館 16階 第10会議室

修士論文提出者（審査順）

- | | |
|-------|--|
| 金子 亮二 | 30-50年代の精神病理論を中心とするラカン理論の創造性の問題について－シュルレアリスムと主体－ |
| 山本 佳生 | ミシェル・ド・モンテーニュ『エッセー』における「信と知」 |
| 原 俊介 | ルイ＝フェルディナン・セリーヌの作品におけるデリール表現と「選択（オルタナティヴ）」の問題 |
| 五井 亮介 | メーテルリンク『温室』に於ける「人工」のテーマ－主題・手法の観点から－ |

以上

<問い合わせ先>

早稲田大学文学学術院フランス語フランス文学コース

電話：03-5286-3681 内線：72-3319

E-mail：salut@list.waseda.jp

早稲田大学大学院文学研究科フランス語フランス文学コース

2017年度 修士論文 最終試験プログラム

2018年1月23日(火) 33号館16階 第10会議室

時間	氏名	主査	副査	副査
10:00～10:30	金子 亮二	鈴木 雅雄	橋本 一径	芳川 泰久
	30-50年代の精神病理論を中心とするラカン理論の創造性の問題について -シュルレアリスムと主体-			
10:30～11:00	山本 佳生	瀬戸 直彦	Odile DUSSUD	久保田 静香
	ミシェル・ド・モンテーニュ『エッセー』における「信と知」			
11:00～11:30	原 俊介	芳川 泰久	堀 千晶	森井 良
	ルイ＝フェルディナン・セリーヌの作品におけるデリール表現と 「選択 (オルタナティヴ)」の問題			
11:30～12:00	五井 亮介	川瀬 武夫	北村 陽子	鈴木 雅雄
	メーテルリンク『温室』に於ける「人工」のテーマ -主題・手法の観点から-			